

主管課緊急処理用

極秘

大	政	事	外	外	儀	官	典	房
日	官	官	審	審	長	長	長	長
大	外	査	特	博				
使	研	密	室	代				
外					報	官		
領					文	長		
ア					審	地	中東	
北					審	北	東西	
中					審	一二		
欧					審	西ソ洋		
長					審	西東		
北					審	一二		
長					次	参経漁途国		
終					審	総経工国博		
長					審	海		
経					審	政国開無		
協					参	調技有理		
長					審	条協規		
条					参	政経人		
長					参	軍社		
科					科	原		
審					密	情析調		
情					審	企安		
調								
長								

総 番 号 R103250 主 管
 年 月 28日 23時 30分 米 国 発
 60年 07月 29日 12時 31分 本 省 着 **北米局長**
 外 務 大 臣 殿 松 永 大 使

米国人・人質釈放問題

第5689号 極秘 大至急

(限定配布)

1. 28日午後3時マックファーレンNSC担当補さ官が公ていに本使を来訪越し短時間会談したところその概要次のとおり。

(1) まず「マ」補さ官より次のとおり述べた。

今朝(当地時間9時ごろ)レーガン大統領よりナカソネ総理に電話して重なる総理の病気見まいに対する謝意を自ら伝えた際、レバノンにおける残された7人の米人人質釈放問題が話題になり、総理より米政府に対する同情を改めて表明すると共に、日本政府が本件救出につきできることあればよろこんでお役に立ちたい旨述べられ、これに対しレーガン大統領はぜひよろしくお願ひしたい旨答えた。自分は本件の重要性にもかんがみ大統領の示さもあり東京よりもどられた直後の貴使に対し、米国政府として日本政府が動いていただけるのであれば誠に有り難い旨をお伝えし、今後の段取り等につき御相談すべく参上した次第である。幸い、最近安倍大臣がシリアを公式訪問され極めて有益な意見交換を行われ、更にラフサンジャニ議長の日本招待の成功等にみられる如く日本はシリア及びイランに対し米国よりもよりクレディブルであるこ

とは間違いなくそれだけに米国としても日本の御じん方に期待したい。

(2) よつて本使より日本政府として如何なることができるか具体案を今持ち合わせている訳ではないと思うが、シリア及びイラン両国を通じて情報を集収し、あらゆる可能性をたん求してみたいということになるのではないだろうかと思う。その為には東京も当該7人についてのデータを必要とすると思う。更に今まで米国政府の行われた救出の試みについて差し支えない範囲で情報を提供願えれば有益であろう旨述べたところ、「マ」補さ官は更に次のとおり述べた。

今まではある米国人を通じカマール派グループと接触を試み、少くとも7人の健康状態は一応良好なる旨確認ができています。しかし、この接触のレベルは低く救出問題は進展していない。当然のことながら米国はシリア政府に救出援助方要請しており、同国政府は好意的な反応は示しているが、これもはかばかしい動きは見られていないようである。シリアはある一定時期テロリズムがシリアのレバノン及至イランとの関係でこう定的なインパクトがあると思っていたが最近かかる認識に変化が生じシリアがテロリズムを必ずしもかん迎しない状況が見られる。従つて日本政府がかかる状況をふまえて何か試みていただければ非常にアプリーシエイトする。7人の氏名その他のデータは明29日ホワイト・ハウスで貴使とお目にかかる際お渡ししたい。

(3) これに対し本使よりは日本政府として何ができるかは分らないし、それが必ず成功するかは判らないが、少しでも米国政府のお役に立つことができればと考えるのではないかと思う。いずれにするも貴補さ官御来訪の件は早速東京へ報告することと致したい旨述べておいた。

2. ついては何ら心得べきことあらば明29日マックファーレン補さ官との会談(当

極秘

地時間午後13時30分の予定)までに回電願いたい。(了)

R103250-03